

総合規制改革会議
構造改革特区・官製市場WG 宛て

厚生労働省健康局生活衛生課

資料請求に対する回答について

1. 質問 について

【理容師】

理容所に従業している理容師数 252,124人
理容所営業施設数 140,374
理容師の免許取得者数(累計) 574,253人

【美容師】

美容所に従事している美容師数 383,214人
美容所営業施設数 208,311
美容師の免許取得者数(累計) 980,263人

(注) データは平成15年3月末現在

		昭和60年	平成2年	7年	12年度	13年度	14年度
理容師	新規資格者数	4,935	5,103	4,392	4,347	3,812	3,388
	従業者数	249,934	252,241	252,187	250,716	250,764	252,124
	営業施設数	144,939	144,214	142,544	140,911	140,599	140,374
美容師	新規資格者数	17,020	15,305	13,026	24,320	27,612	27,177
	従業者数	296,265	316,406	327,596	355,081	368,057	383,214
	営業施設数	175,433	186,506	193,918	202,434	205,204	208,311

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」

理容師・美容師の免許取得者数(累計)については、廃業届が出ているものを除いた数字である。

平成7年以前は各年12月末現在の数字である。

2. 質問 について

理容師、美容師になるためには、高等学校卒業後、それぞれの養成施設において、昼間課程の場合で、2年以上（2,000時間以上）の修業期間を経た後に、筆記試験及び実技試験からなる国家試験である理容師試験、美容師試験を受験し、合格しなければならないこととなっている。2,000時間以上課されることとなっている養成課程は、学科講習（選択科目を含め、1200時間以上）及び実技講習（800時間以上）から構成されているところであるが、理容師・美容師の養成課程については、以下のとおり、その内容においてかなりの相違が存在している。

（1）理容師・美容師が用いる道具等の違い

理容師：（イ）きれいに刈り込めるよう、刃渡りの部分が長い刈込鋏を主に用いる。
（ロ）実技試験では、刈込鋏のほか、バリカンを使用。
（ハ）鋏を地面に対して水平（横）にしながら切っていくようなイメージ。

美容師：（イ）自由なデザインカットができるよう、刃渡りの部分が短く、柄が反るように曲がった美容鋏を使用。
（ロ）実技試験では、バリカン、セニング・シザーズ（すき鋏）の使用は不可。また、養成課程においてもほとんど学習していない。
（ハ）鋏を地面に対して直角（縦）にしながら切っていくようなイメージ。

（2）養成施設における学科講習の違い

学科講習においては、それぞれが教えている技術理論が大きく異なっている。

（3）養成施設における実技講習の違い

理容師：理容師の実技講習においては、もっぱら刈上げ技術等の習得のために、立ち位置、鋏の持ち方から含めて、徹底的な基礎教育を受けることとなっている。このため、男性スタンダードヘアカットを中心として、ヘアカットイングだけに255時間もの時間を要しているものである。この他、理容独自のものとして、シェービング等について、講習を受けているが、メイクアップ、着付け技術、ネイル技術や、様々な技法によるヘアセッティング技術については、講習を受けていない。

美容師：元来、女性長髪中心のカットであったため、刈込み技術等は全く教えられておらず、長髪を活かしたデザインカットを中心に105時間の講習を受けることとなっている。他方、美容独自のものとして、長髪を活かし、ピンカール、アップスタイル、編み込み等様々な技法によるヘアセッティング技術の習得に多数時間が割かれている（理容90時間に対し、美容265時間）。このほか、美容独自の講習としては、メイクアップ（50時間）、着付け技術（45時間）、ネイル技術（35時間）が課されているところ。

詳細は、（参考1）及び（参考2）を参照のこと。

また、上記時間数は、都内の標準的な養成施設の例による。

(4) 実技試験の違い

元来、パーマ、ヘアセッティング等を中心に発展してきた美容師にとっては、相対的に業務に占めるカットの比重が理容師よりも相当程度低かったこともあり、平成10年度から最初の2回の国家試験については、実技試験の課題にカットが課されていなかったところ。

美容師の実技試験にカットが課題に組み込まれたのは、平成12年からのことであり、これも理容師が刈上げ技術等を活かしたスタンダードカットを課しているのに対し、美容師は、上層部の毛から下層部への毛とごくわずかな段差をつけながら、毛先につながりをもたせるグラデーション・ボブ・スタイルによるカット試験が課されているところ。

実技試験の課題のイメージは、(参考3)を参照のこと。

(参考1) 理容・美容実技講習課程の比較

理容師実技講習

美容師実技講習

ヘアcutting 255時間
男性スタンダードヘア中心のcut
刈上げ技術等を修得するための基礎cutting
ブローcut (スポーツ刈り)
デザインcut
国家試験cut (刈上げ技術を活かしたミディアム・ロング)
シザーズ(鋏)研磨
姿勢、立ち位置、鋏の持ち方等トレーニング
ヘアセッティング 90時間
七・三分け等いわゆる整髪
パーマセット 170時間
アイパー、パンチパーマ等のパーマ
ヘアカラーリング 50時間
シャンプーング 75時間
シェービング 110時間
レザー研磨を含む。
エステティック(顔のみ) 35時間
理容マッサージ 65時間
接客法 30時間

ヘアcutting 105時間
女性長髪中心のデザインcut
国家試験cut (グラデーション・ボブ・スタイル)
ヘアセッティング 265時間
ピンカール、
フィンガーウェーブ、
アップスタイル、
編み込み 等
様々な技法によるヘアスタイル技術の習得
日本髪結
パーマセットウェーブ 143時間
ロッド等を用いたパーマ
ヘアカラーリング 55時間
シャンプーング 137時間
長髪の洗髪、ヘアカラーリング後の洗髪等を重点的に教育
エステティック 45時間
メイクアップ 50時間
着付け技術 45時間
ネイル技術 35時間

総計 880時間

総計 880時間

東京都の代表的養成施設の例による。

(参考2) 理容美容におけるカット技術の概要

【 理 容 】

<シザーズの持ち方> 左手でシザーズの鉄身を持ち、右手の薬指を薬指孔へ第2関節まで入れ、小指を小指掛にかけ、示指と中指で薬指柄を抱え込むようにする。



<コームの使い方> 右手でコームを持ち、左手の中指、薬指、小指を軽く握り、母指と示指ではさむようにする。母指と示指の指先で歯元の延長上を両側からしっかりとはさむ。(図 すくい刈持ち。その他、押し刈持ち、まわし刈持ちがある。)



<カットの技法> シザーズとコームを一体として運行する方法によりカットする。

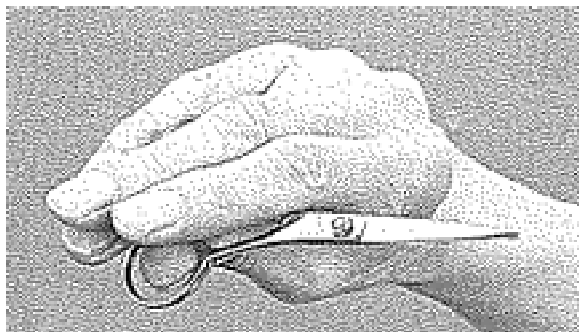


<仕上がり>

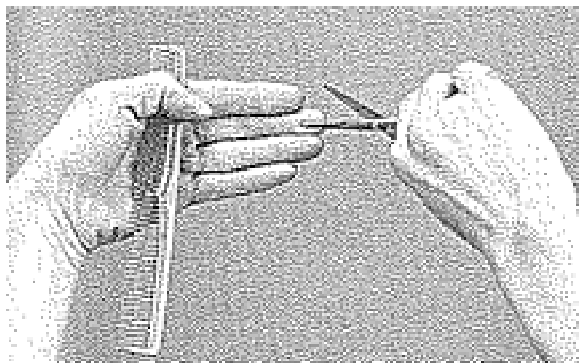


【 美 容 】

<シザーズの持ち方> 左手でシザーズの要の部分を持ち、右手指をそろえ、左手より斜め45度の角度から薬指の第3関節を入れ、シザーズを軽く握り動刃の母指孔に母指をそわせるように当てる。



<コームの使い方> コームを左母指に預け、カットの体制に入る。



<カットの技法> 毛先まで平均に広げて持ちカットする。第2関節以上をカットする場合は自分の手を切りやすい。切る角度と方向によってヘアラインを形成する。



<仕上がり>



(参考3)

理容師実技試験実技課題のイメージ



美容師実技試験実技課題のイメージ



3. 質問 について

理容・美容のヘアカット技術には差異があり、それぞれの養成課程も全く異なるものである。

異なるカット技術を有する理容師・美容師の混在する店舗を認めることは、現在、理容所、美容所に赴くことをもってして、提供される役務を自ら選択している消費者利便を阻害し、消費者の利益につながらないおそれがある。

「理容師と美容師が混在するカット専門店において、職員がいずれかの資格を保持しているかを表示する」との御提案に対しては、その実効性、混在を認めた場合の消費者の利便性、安全性、公衆衛生及び養成教育への影響などの観点から、十分かつ慎重な検討を要するものと考えます。したがって、ご指摘の趣旨も踏まえつつ、多様な観点から、必要な調査を行ってまいりたい。